



タック TACの家庭菜園教室



TAC（タック＝営農経済渉外）が家庭菜園を行う際のポイントや注意点などをじっくり分かりやすく解説いたします！

秋冬野菜の種まき・植え付け

10月は、秋冬野菜の栽培が本格的にスタートする季節です。寒さにさらされることで甘みやうま味が増す野菜も多く、家庭菜園の魅力を存分に楽しめる時期です。

地域の気候に応じて、防寒ネットやビニールトンネルなどを活用すると、栽培期間の延長や品質の向上にもつながります。

【🥬葉物・根菜類（寒さで甘みアップ!）】

ハウレンソウ・水菜・小松菜

寒さに当たることで甘みが増す「寒締め」にぴったり。今からの種まきもまだ間に合います。寒冷地ではトンネル栽培が効果的です。

カブ（10月上旬）

種まき適期は10月上旬までですが、暖地では中旬ごろまで可能な場合も。今からは少し遅めなので、試す場合は霜よけ対策を行いましょう。

【🌸菜の花も今のうちに!】

小松菜や他のアブラナ科野菜

秋に種まきして越冬させることで、春には食用の「菜の花」として楽しめます。家庭菜園ならではの贅沢な活用法です。

【🌱豆類(スナップエンドウ・ソラマメ)】

寒さに強く、春にはたっぷりの実をつけてくれるので、ぜひこのタイミングで植えましょう。

【🍷 球根・苗の植え付け】

ニンニク 10月中旬までが植え付けの目安。今から植える場合は早めに。

玉ねぎ 苗の植え付けは10月下旬～11月が適期。準備を始めましょう。

イチゴ 定植は10月中が最適。そろそろ植え付けラストチャンスです！

【🌱 秋まきキャベツ】

秋に種まきすれば、春の収穫が楽しめるキャベツ。10月中の種まきが目安なので、早めの作業をおすすめします！

🌱 ワンポイントアドバイス

遅れ気味の種まきや植え付けは、防寒対策（トンネル・マルチングなど）をしっかりと行いましょう。

地域の気温や霜のタイミングに注意しながら、適期を逃さず作業することが、美味しい秋冬野菜を育てるコツです。

葉物 根菜

ホウレンソウ、水菜、小松菜（霜に当たすることで甘みが増す“寒締め”に最適）、カブ（10月上旬）



球根・ 苗植え

ニンニク（～10月中旬）や玉ねぎ（10月下旬～11月）の苗植え、イチゴの定植も10月に開始可能です



菜の花

小松菜など「アブラナ科」を種まきして越冬させ、春に食用の菜の花として利用



秋まき 野菜

キャベツは10月に種まきすれば、春の収穫が見込めます



豆類

スナップエンドウ・ソラマメなどは10～11月に種まきして、翌春の収穫に備えましょう



詳細版はJA足利のホームページ（営農情報）に掲載していますので、ぜひ併せてご覧ください！▶



栽培に関する疑問など、お気軽にTAC（タック）までお問い合わせください。

お申込み・お問い合わせ JA足利 営農振興課 ☎0284-22-4433(担当:TAC)

または 経済課 ☎0284-70-3071 富田センター☎0284-43-8880

北支店(経済)☎0284-43-8880 西支店(経済)☎0284-65-1139